

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

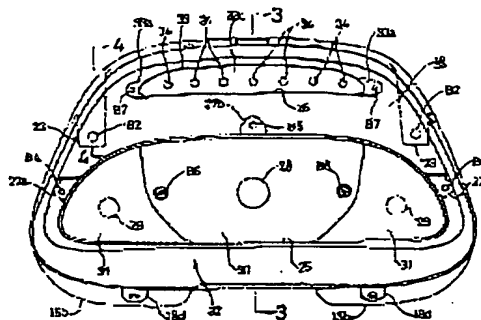
(11) Publication number **06156341 A**(43) Date of publication of application: **03.06.94**

(51) Int. Cl. **B62J 6/00**  
**B62J 6/04**  
**H01L 33/00**

(21) Application number **04341175**(71) Applicant: **HONDA MOTOR CO LTD**(22) Date of filing: **27.11.92**(72) Inventor: **OTAKA TOSHIHIRO****(54) LAMP ARRANGING STRUCTURE OF MOTORCYCLE****(57) Abstract:**

**PURPOSE:** To minimize the width in the vertical direction of a rear cover, in a motorcycle in which a combination lamp and a stop lamp are provided on the rear cover provided at the rear part of a car body

**CONSTITUTION:** On the rear cover 18 at the rear part of a car body, a combination lamp 32 which consists of a tail lamp 28, winker lamps 29, and the like, is provided in one line in the lateral direction, and a high-mount stop lamp 34 which consists of a luminous diode is installed integrally at the position upper than the combination lamp 32



COPYRIGHT (C)1994 JPO&amp;Japio

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-156341

(43)公開日 平成6年(1994)6月3日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 2 J 6/00	L			
	A			
6/04				
H 0 1 L 33/00	L	7376-4M		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-341175

(22)出願日 平成4年(1992)11月27日

(71)出願人 000005326

本田技研工業株式会社

東京都港区南青山二丁目1番1号

(72)発明者 大高 敏浩

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会  
社本田技術研究所内

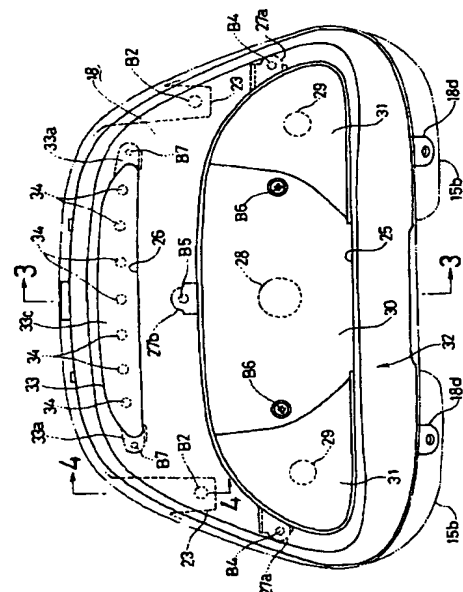
(74)代理人 弁理士 下田 容一郎 (外2名)

(54)【発明の名称】 自動二輪車のランプ配置構造

(57)【要約】

【目的】 車体後部に設けた後部カバーにコンビランプ、ストップランプを設ける自動二輪車に於いて、前記後部カバーの上下幅を可及的に小さくする。

【構成】 車体後部の後部カバー18にテールランプ28、ウインカーランプ29等からなるコンビランプ32を横一列に設け、前記後部カバー18の前記コンビランプ32よりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプ34を一体に取付ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体後部の後部カバーにテールランプ、ウインカーランプ等からなるコンビランプを横一列に設け、前記後部カバーの前記コンビランプよりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプを一体に取付けたことを特徴とする自動二輪車のランプ配置構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、自動二輪車のランプ構造に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より自動二輪車の中には、車体に後部に後部カバーを設け、この後部カバーにテールランプ等を設けた構造のものがある。実開平2-117279号公報にはこのような自動二輪車の開示があり、この公報の第5図には車体後部に設けた後部カバーにテールランプを設けるとともに後部カバーの前記テールランプよりも上部にストップランプを設けた自動二輪車の開示がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、この公報の自動二輪車では、前記テールランプ、ストップランプはともに電球を使用しているためにこれら二つのランプは上下に大きな幅が必要となり、これに伴って後部カバーも上下に大型化するものであった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するため本発明は、車体後部の後部カバーにテールランプ、ウインカーランプ等からなるコンビランプを横一列に設け、前記後部カバーの前記コンビランプよりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプを一体に取付けたことを特徴とする。

## 【0005】

【作用】 後部カバーのコンビランプよりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプを設けるので、従来のように電球を使用するものに比べてストップランプの上下の幅を小さくすることができ、これにより後部カバーの上下幅を小さくすることができる。

## 【0006】

【実施例】 以下に本発明の好適1実施例を添付図面に基づいて説明する。図1は自動二輪車（スクーター）の側面図を示し、図中、1は車体フレーム、2は前輪、3は後輪、4はハンドル、5はフロアー、6はシート、7はパワーユニット、8はスタンドである。前記車体フレーム1は、ヘッドチューブ10から下方に延出するダウンフレーム11と、該ダウンフレーム11下部に前端が取付けられ、後方に延出する左右のロアフレーム12、12とから成り、ロアフレーム12の後部は上方に起立するとともに更に後方へ延出する後部フレーム13を構成

している。前記シート6の下方はボディカバー15で覆い、このボディカバー15は、上部カバー15aと下部カバー15bとからなり、ボディカバー15内にはヘルメット等を収納する収納ボックス16を設ける。又ボディカバー15の後部には開口部15cを形成し、この開口部15cに後部カバー18を設け、この後部カバー18は図2に示すように横幅の大きい略台形状を成す。

【0007】 前記後部カバー18の上部18aは、図3に示すように後部フレーム13から後方へ延出する支持ステー19と、ボディカバー15と、図示しないリアキャリアの左右の連結部20と、キャリアカバー21のボス部22とともにボルトB1で締結し、又、後部カバー18の左右の後面には前方へ延出するボス部18b、18bを設け、図4に示すようにこのボス部18bと、ボディカバー15に形成したステー23とをビスB2で締結する。更に後部カバー18の下面18cの左右に形成したステー18d、18dと下部カバー15bの後部とをビスB3で締結する。

【0008】 前記後部カバー18の下側には横方向に幅の大きい取付孔25を形成し、この上には同じく横方向に幅の大きい取付孔26を形成する。取付孔25にはランプ支持部材27を取付け、このランプ支持部材27は図2に示すように左右に形成した取付片27a、27aをビスB4で後部カバー18に締結するとともに上部に形成した取付片27bをビスB5で後部カバー18に締結する。前記ランプ支持部材27の中央にはストップランプを兼用するテールランプ28を水平に取付け、又、テールランプ28の左右には左右のウインカーランプ29、29を同様に取付ける。そしてテールランプ28をランプカバー30で覆ってこのランプカバー30をビスB6、B6でランプ支持部材27に締結し、又、ウインカーランプ29、29をランプカバー31、31で覆い、前記テールランプ28、ウインカーランプ29、29等でコンビランプ32を構成する。

【0009】 前記取付孔26には、ランプ支持部材33を取付け、この取付けは図2に示すようにランプ支持部材33から左右に延出する取付片33a、33aをビスB7、B7を介して後部カバー18に締結することで行う。ランプ支持部材33は、底板部33bと、ランプレンズ33cから成り、このランプ支持部材33内には車幅方向に長い基板33dを設け、この基板33dには発光ダイオードから成るハイマウントストップランプ34…を横一列に並設する。

【0010】 以上に於いて、本実施例によれば、後部カバー18のコンビランプ32よりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプ34を設けるので、このハイマウントストップランプの上下方向の幅を小さくすることができ、従来のように電球を使用するものに比べて後部カバー18の上下の幅を小さくすることができる。又、コンビランプ32、ハイマウントストッ

3

ランプ34を後部カバー18に一体に取付ける構造なので、コンビランプ32、ハイマウントストップランプ34を予め後部カバー18に取り付けておけば、自動二輪車の製造時にはこの後部カバー18を車体側に取付けるだけでよくなり、自動二輪車の製造を容易にすることができる。更には従来使われていなかったコンビランプ23の上方のデッドスペースをハイマウントストップランプ34により有効に利用することができる。

【0011】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、後部カバーのコンビランプよりも上方に発光ダイオードより成るハイマウントストップランプを設けるので、従来のように電球を使用するものに比べてストップランプの上

4

下の幅を小さくすることができ、これにより後部カバーの上下幅を小さくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】自動二輪車の側面図。

【図2】後部カバーの正面図。

【図3】図2の3-3線断面図。

【図4】図2の4-4線断面図。

【符号の説明】

18…後部カバー

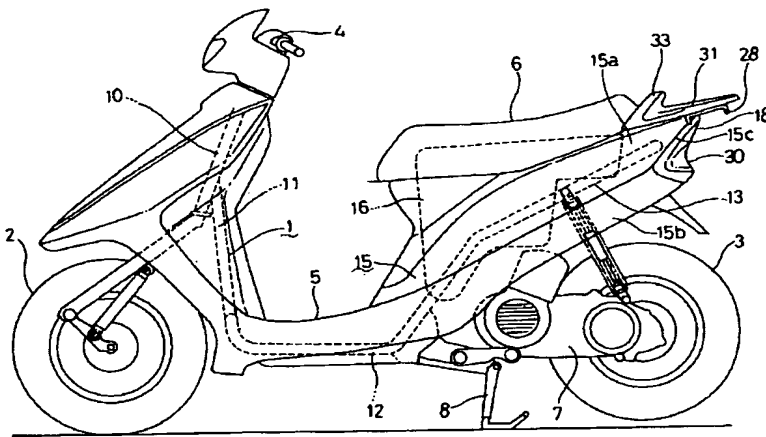
28…テールランプ

29…ウインカランプ

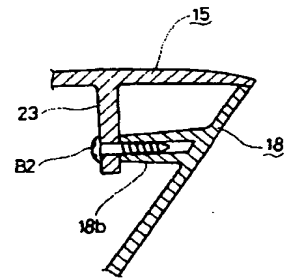
32…コンビランプ

34…ハイマウントストップランプ

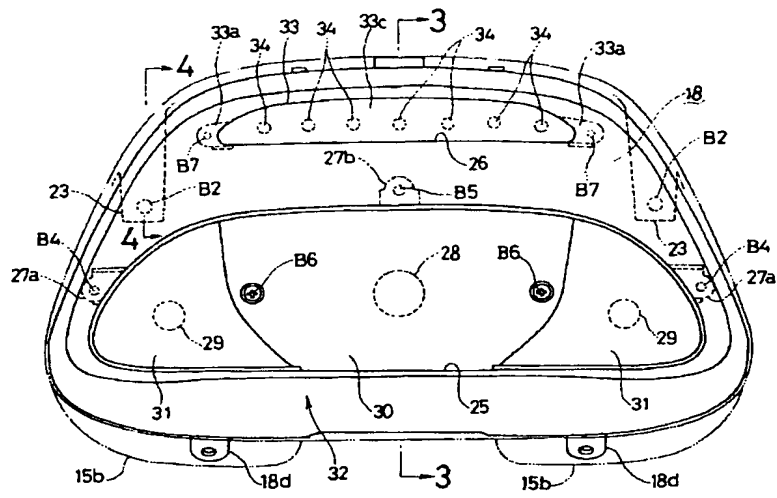
【図1】



【図4】



【図2】



【図3】

